

日光国体開幕



全国からスケート・アイスホッケーの強豪が集まった「ひかりの郷 日光国体」の開始式
＝28日午前10時、日光総合会館

18年ぶり栃木県開催

東日本大震災復興支援第69回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会「ひかりの郷 日光国体」は28日、日光市の日光総合会館で開始式を行い、本県では18年ぶりとなる氷上のスポーツの祭典が開幕した。

2月2日までの6日間、日光霧降アイスアリーナなど同市内4会場でアイスホッケー、スピードスケート、ショートトラック、フィギュアの4種目に全国から約1700人の選手団が参加し熱戦を繰り広げる。

開始式では各県選手団を北から紹介。最後に本県選手団が起立し、会場から盛んな拍手を浴びた。福田富一知事が「日ごろ鍛えた技を競って友情を深め、選手が銀盤に

震災復興支援 氷上の祭典、2日まで

光り輝く大会にしてほしい」などと開始を宣言。日光明峰高アイスホッケー部の大津夕聖主将、選手団旗手の若林大季(日光スケータイングルーブ)が登壇し、大津主将が「『リンクに競う夢と感動 広がる未来』のスローガンの下、フェアプレーとリスペクトの精神を忘れず、最後まであきらめずプレーすることを誓います」と選手宣誓した。

本県選手団は監督、選手計56人。スピード成年男子5000メートルで2年連続3度目の頂点を狙う若林大季や、先の全国高校総体で35年ぶりに決勝進出を果たした日光明峰高が出場するアイスホッケー少年などに期待が集まる。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社2014

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (事業・教育)

営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞 検索

下野新聞購読申し込みは

ダイヤル 0120-810081

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯、スマホで栃木のニュースを!!

下野新聞
SOON
月額262円

下野新聞 検索